

市民アンケート実施計画

1. 市民参加手法の導入の目的

基本方針の作成にあたって、下野市公共施設白書を元に、市民アンケートにより市民意見を幅広く把握することで、基本方針に市民意見を反映していくことを目的とする。

2. 実施概要

- 平成 28 年 3 月の基本方針（案）の公表に先立ち、基本方針（案）に市民意見を反映する。
- 特に聞きたい事項としては、現状の課題に対する共通認識を持っていただいた上で、今後の公共施設全体のあり方に対する市民意向を把握する。

3. 実施方法

- (1) 調査対象：18 歳以上の無作為抽出の 900 名の市民
※有効回答数 300 を想定。
- (2) 調査方法：調査用紙を対象者に郵送し、郵便で回収
- (3) 調査日程：9 月下旬に発送、10 月下旬～11 月下旬にアンケート結果集計
- (4) アンケート項目

大項目	中項目	備考
公共施設マネジメントの取り組みについて	白書作成の取り組みへの理解度	市民の現状と課題に対する意識（今後公共施設マネジメントを進めることへの理解）を確認する項目。
	現状と課題に関する関心度	
	公共施設マネジメントへの取り組みへの意見（賛成・反対）	
公共施設（ハコモノ）の利用や印象について	公共施設の利用状況（施設類型別）	現状のハコモノの利用状況や満足度、公共施設に関する認識を確認する項目。今後の統廃合や、提供サービスの見直しの参考。
	利用しない場合の理由	
	公共施設の質や量などの充実度 優先的に維持・充実すべき公共施設	
公共施設（ハコモノ）の維持管理の工夫や方策について	運営方法の見直しによる維持管理費等の削減を図る各手法への意向	基本方針(案)において検討する予定の各方針について、市民の賛成度合いが高い方針について確認を行い、基本方針（案）の重みづけに反映。
	総量規制による維持管理費等の削減を図る各手法への意向	
	財源確保のための各手法への意向	
都市基盤施設（インフラ）に対する考えについて	都市基盤施設の量や利用しやすさなどの充実度	ハコモノと同様に、現状の利用状況の確認と、各方針への市民の賛成度合いを確認。
	維持管理費等の削減を図る各手法への意向	
その他	自由意見	その他の意見を把握。
回答者属性	性別・年齢・職業 居住地区・居住年数	地区別、年齢別にクロス集計を行うことを想定。

下野市公共施設等のあり方に関する市民アンケート調査 (ご協力のお願い)

市民の皆さまには、日頃から市政に対するご理解とご協力をいただきありがとうございます。
ございます。

下野市では、厳しい財政状況が続く中で、所有する公共施設等について、市民の利便性を高めるとともに、財政負担の軽減や平準化を図っていく必要があります。そのため、平成 27 年 9 月に「下野市公共施設白書」を公表し、施設機能の移転や統合、廃止を含めた施設の再配置計画等の策定への取組に着手しました。

市民の皆さまのご意見を伺い、問題意識を共有しながら進めてまいりたいと考え、今回のアンケート調査を実施させていただくこととしました。

アンケートの回答内容は統計的に処理し、上記目的以外には使用いたしません。また、個人が特定されるようなことは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成 27 年 9 月 下野市

1. 送付物

市民アンケート調査票一式：1部
返信用封筒（切手不要）：1枚

2. ご回答の期日

調査票を同封の返信用封筒に入れて、**平成 27 年 10 月 19 日（月）**までに投函をお願いいたします。

3. 本調査のお問合せ先

このアンケート調査について、ご不明な点等がございましたら下記にお問い合わせください。

■担当

下野市総合政策部総合政策課 公有資産活用グループ 長塚・伊澤
電話 0285-40-5550

■調査実施機関

東京都新宿区西落合2-18-12
八千代エンジニアリング株式会社 総合事業本部 社会計画部

アンケート調査実施要領

【ご回答にあたってのお願い】

- ①ご回答いただく前に、次ページ「(はじめに) 下野市の公共施設等」をお読みください。
- ②ご回答は、調査票をお送りした宛名のご本人にお願いいたします。
ご回答にあたっては、質問をよくお読みになり、記入してください。
ご回答を終えましたら、もう一度漏れがないかどうか、ご確認ください。
ご回答後の調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストに投函してください。
- ③今回のアンケート調査では、下野市が設置及び管理する公共施設等（建物や道路・上下水道など）についてお伺いします。
- ④アンケートのご回答にあたっては、市が平成27年9月に公表した「下野市公共施設白書」もご参考にご覧ください。

※「下野市公共施設白書」及び同概要版は次の場所で閲覧できます。

- ・ 総合政策課窓口（国分寺庁舎2階）、各図書館
- ・ 市ホームページ

- ⑤ご回答の期限は 平成27年10月19日（月）です。

(はじめに) 下野市の公共施設等

◎下野市の公共施設等の現状

下野市の公共建築物である学校や公民館、庁舎等の公共施設（ハコモノ）は、171 施設あり、総延床面積は約 17.8 万㎡になります。また、道路や橋りょう、上下水道など都市基盤施設（インフラ）も数多く保有しています。

これら公共施設等の多くは昭和 40～50 年代の人口増加に合わせて集中的に整備されており、ハコモノについては約5割が築 30 年以上経過するなど老朽化が進み、インフラも含めて近い将来一斉に更新（建替え）時期を迎えます。

◎下野市の公共施設等の課題

「下野市公共施設白書」によると、全ての公共施設等をこれまでどおり改修・更新とした場合、平成 37 年度以降は、これまで施設整備にかけてきた 1 年あたりの総費用の 1.1～1.2 倍のお金がかかると予想されます。つまり、同じ額をかけることができたとしても 8～9 割の公共施設等しか改修・更新ができないことになります。そのため、単純に改修・更新等を進めてしまうと、他の市民サービスに影響が出てしまったり、将来世代の負担となったりしてしまいます。

少子高齢化や人口減少といった社会環境の大きな変化もあり、税収の減少も見込まれる中で、今後ますます財政的な制約が強まると予想されるため、施設のあり方を根本的に見直し、安心・安全で持続可能な施設運営を行っていく必要があります。

◎公共施設マネジメントの必要性

公共施設マネジメントとは、長期的な視点に立って、市の公共施設等全体で経費の削減に向けた工夫や方策を検討・実施し、質・量で適正化を図ることにより、公共施設等を安心・安全で持続的に維持するための取組です。

工夫や方策とは、例えば、できるだけ建替えせずに既存施設に適正な手当てをして長寿命化させたり、余剰施設を削減、または他の用途へ転用して有効活用したり、建替え時の規模見直しや複合化により面積を縮小したり、また民間の施設やノウハウを活用して維持管理運営費や改修・更新費を削減するなど様々です。

市の共有財産である公共施設等を将来世代に安心して引き継いでいくためにも、公共施設マネジメントの導入が必要となっています。

◎今後の取組について

下野市は、平成 27 年 9 月に市の保有する公共施設等の現状把握として「下野市公共施設白書」を公表しました。これに基づき、公共施設マネジメント実施のための計画を策定していきます。

1.市の公共施設マネジメントの取組について

「(はじめに) 下野市の公共施設等」をお読みになった上で、公共施設マネジメントに関する市の取組について、以下の設問の選択肢から当てはまるもの一つを選んで○印を付けてください。

【 設問1 】

下野市では、既存施設の情報や建替え等にかかる費用推計などの情報について、「公共施設白書」として市民の皆さまに公開しましたが、このことをご存知でしたか。

- a. 読んだことがある b. 知っているが、読んだことはない c. 知らなかった

【 設問2 】

下野市の公共施設等の現状と課題について、どのくらい関心をお持ちになりましたか。

- a. おおいに関心を持った b. どちらかといえば関心を持った
c. どちらかといえば関心を持たなかった d. まったく関心を持たなかった e. 分からない

【 設問3 】

下野市が必要と考えている公共施設マネジメントの取組についてどう思いますか。

- a. 賛成である b. どちらかといえば賛成である c. どちらかといえば反対である
d. 反対である e. 分からない

2.公共施設（ハコモノ）の利用や印象について

下野市の公共施設、いわゆる「ハコモノ」は、目的に応じて様々な種類の施設があります。これら施設の利用状況や充実度について、以下の設問の施設の種類ごとの選択肢から当てはまるもの一つを選んで○印を付けてください。

【 設問1 】

下野市の施設をどの程度利用していますか。また、1度も利用したことがない場合、その理由は何ですか。（利用しない理由については複数回答可）

施設の種類 ※下段（ ）内は施設の代表例	利用状況				利用しない理由
	よく利用する (月1回以上)	たまに利用する (年に数回)	過去に利用したことがある	1度も利用したことがない	下欄のa~fから選択 (複数回答可)
(1)コミュニティ関連施設 (コミュニティセンター)	1	2	3	4	a・b・c・d・e・f
(2)保健・福祉施設 (ゆうゆう館、きらら館、ふれあい館)	1	2	3	4	a・b・c・d・e・f
(3)子育て支援施設 (保育園、児童館、学童保育、子育て支援センター)	1	2	3	4	a・b・c・d・e・f
(4)農業振興施設 (農産物加工センター、道の駅しもつけ、市民農園)	1	2	3	4	a・b・c・d・e・f
(5)公園施設 (公園)	1	2	3	4	a・b・c・d・e・f
(6)学校教育施設 (小学校、中学校)	1	2	3	4	a・b・c・d・e・f
(7)社会教育施設 (公民館、図書館、生涯学習センター)	1	2	3	4	a・b・c・d・e・f
(8)文化施設 (グリムの館、テーマ館)	1	2	3	4	a・b・c・d・e・f
(9)体育施設 (体育館、武道館)	1	2	3	4	a・b・c・d・e・f
(10)庁舎等 (庁舎)	1	2	3	4	a・b・c・d・e・f
(11)その他の施設 (自転車駐車場)	1	2	3	4	a・b・c・d・e・f



利用しない理由	a. 利用する必要がない b. 利用料金が高い c. 施設までのアクセスが不便 d. 設備・サービス等が充実していない e. 民間や他自治体の同種の施設を利用している f. その他の理由
---------	--

【 設問2 】

下野市の施設の質や量などの充実度についてどのような印象をお持ちですか。

施設の種類 ※下段（ ）内は施設の代表例	充実している	どちらかといえば 充実している	どちらかといえば 充実していない	充実していない	分からない
(1) コミュニティ関連施設 (コミュニティセンター)	1	2	3	4	5
(2) 保健・福祉施設 (ゆうゆう館、きらら館、ふれあい館)	1	2	3	4	5
(3) 子育て支援施設 (保育園、児童館、学童保育、子育て支援センター)	1	2	3	4	5
(4) 農業振興施設 (農産物加工センター、道の駅しもつけ、市民農園)	1	2	3	4	5
(5) 市営住宅 (市営住宅)	1	2	3	4	5
(6) 公園施設 (公園)	1	2	3	4	5
(7) 消防・防災施設 (消防団詰所)	1	2	3	4	5
(8) 学校教育施設 (小学校、中学校)	1	2	3	4	5
(9) 社会教育施設 (公民館、図書館、生涯学習センター)	1	2	3	4	5
(10) 文化施設 (グリムの館、テーマ館)	1	2	3	4	5
(11) 体育施設 (体育館、武道館)	1	2	3	4	5
(12) 庁舎等 (庁舎)	1	2	3	4	5
(13) その他の施設 (自転車駐車場)	1	2	3	4	5

【 設問3 】

現在ある全ての施設を維持できなくなった場合、どの施設を将来にわたって市が優先的に維持・充実していくべきとお考えですか。該当する選択肢のチェック欄に○をつけてください。(複数回答可)

施設の種類 ※下段()内は施設の代表例	チェック欄	施設の種類 ※下段()内は施設の代表例	チェック欄
(1) コミュニティ関連施設 (コミュニティセンター)		(8) 学校教育施設 (小学校、中学校)	
(2) 保健・福祉施設 (ゆうゆう館、きらら館、ふれあい館)		(9) 社会教育施設 (公民館、図書館、生涯学習センター)	
(3) 子育て支援施設 (保育園、児童館、学童保育、子育て支援センター)		(10) 文化施設 (グリムの館、テーマ館)	
(4) 農業振興施設 (農産物加工センター、道の駅しもつけ、市民農園)		(11) 体育施設 (体育館、武道館)	
(5) 市営住宅 (市営住宅)		(12) 庁舎等 (庁舎)	
(6) 公園施設 (公園)		(13) その他の施設 (自転車駐車場)	
(7) 消防・防災施設 (消防団詰所)			

3.公共施設（ハコモノ）の維持管理の工夫や方策について

全国の地方自治体で検討されている公共施設（ハコモノ）の維持管理に関する工夫や方策について、以下の設問の手法ごとの選択肢から当てはまるもの一つを選んで○印をつけてください。

【 設問1 】

施設の運営方法を見直して維持管理費等の削減を図る以下の手法についてどう思いますか。

手法	考え方	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきでない	実施すべきでない
	近隣の市や町と共同で施設の建設・維持管理・運営を行う（広域化）	1	2	3	4
	建替えや運営等に民間の資金やノウハウを積極的に活用する（民間活用）	1	2	3	4
	地域活動に密着した施設については、その地域住民で所有や維持管理を行う（地域移管）	1	2	3	4
	駅周辺等の人口密集エリアに主要施設を集めて運営を合理化する（コンパクトシティ）	1	2	3	4

【 設問2 】

施設の総量抑制により維持管理費等の削減を図る以下の手法についてどう思いますか。

手法	考え方	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきでない	実施すべきでない
	できるだけ建替えず、既存施設に適切な修繕等を行うことにより長持ちさせて、大切に使う（長寿命化）	1	2	3	4
	種類の異なる複数の施設を同一の建物内に集約して、公共施設の全体量を減らす（複合化）	1	2	3	4
	機能が類似・重複する施設を統合・廃止して、公共施設の全体量を減らす（統廃合）	1	2	3	4
	新たな建物の建設をできるだけ避け、民間施設を積極的に活用して公共施設を運営する（民間資産活用）	1	2	3	4
	建替えや改修時に施設の構造や形状等を工夫して、時代のニーズに合わせて機能や用途を変更する（多機能化）	1	2	3	4
	建替え時に施設の規模を小さくする（ダウンサイジング）	1	2	3	4

【 設問3 】

施設の維持管理のための財源の確保についてどう思いますか。

手法	考え方	実施すべき	どちらかといえば 実施すべき	どちらかといえば 実施すべきでない	実施すべきでない
未利用または余剰の施設や土地を売却・賃貸して、他の施設の維持管理費に充てる（公的不動産の活用）		1	2	3	4
施設の利用料金を見直すなど利用者に負担を求める（受益者負担）		1	2	3	4
施設で提供するサービス水準を引き下げることにより運営費を削減する（施設サービス見直し）		1	2	3	4
施設等の命名権を活用して収入の増加を図る（ネーミングライツ）		1	2	3	4
他の行政サービスより優先して、施設の維持管理にお金を充てる（歳出配分の見直し）		1	2	3	4
施設の建替えや大規模改修の不足分について、借入金等で対応する（負債の増加）		1	2	3	4

4.都市基盤施設（インフラ）に対する考えについて

日常的に利用され、生活に欠かせない都市基盤施設（インフラ：道路・橋りょう、上下水道）について、以下の設問の選択肢から当てはまるもの一つを選んで○印をつけてください。

【 設問1 】

下野市の都市基盤施設（インフラ）の整備状況（施設数（量）、利用しやすさなど）に対してどのような印象・考えをお持ちですか。

施設の種類 ※下段（ ）内は施設の代表例	不足している （拡充必要）	充足している （拡充・削減不要）	過剰気味である （削減必要）	分からない
(1)道路・橋りょう （道路・橋りょう等）	1	2	3	4
(2)下水道 （管路・クリーンセンター等）	1	2	3	4
(3)上水道 （管路・配水場等）	1	2	3	4

【 設問2 】

都市基盤施設（インフラ）の整備や維持管理について、以下の手法をどう思いますか。手法ごとの選択肢から当てはまるもの一つを選んで○印をつけてください。

手法	考え方	実施すべき	どちらかといえば 実施すべき	どちらかといえば 実施すべきでない	実施すべきでない
近隣の市や町と共同で施設の建設・維持管理・運営を行う（広域化）		1	2	3	4
施設の整備や維持管理に民間の資金やノウハウを積極的に活用する（民間活用）		1	2	3	4
地域活動に密着した施設（生活道路等）については、その地域住民により維持管理を行う（住民協働） ※例：住民による道路美化や施設の異常等の通報 等		1	2	3	4
適切な修繕等を行うことにより、施設性能を確保しながら長持ちさせて大切に利用する（長寿命化）		1	2	3	4
施設で提供するサービス水準を最低限必要なレベルまで引き下げることにより管理費を削減する（施設サービス見直し） ※例：車道は、車両が安全に走行できれば、舗装のひび割れ等については一定程度許容する 等		1	2	3	4
老朽化が激しい施設や利用率の低い施設を集約・廃止する（統廃合） ※例：高齢化等を考慮した歩道橋の撤去 等		1	2	3	4
新規整備の計画を見直し、既存施設の維持管理を優先して行う（計画見直し）		1	2	3	4
他の行政サービスより優先して、施設の新規整備や維持管理にお金を充てる（歳出配分の見直し）		1	2	3	4
施設の使用料（上下水道料金）を見直して、新規整備や維持管理に充てる（受益者負担）		1	2	3	4
施設等の命名権を活用して収入の増加を図る（ネーミングライツ）		1	2	3	4

5. その他

下野市内の公共施設等全般に関して、ご意見がございましたらご自由にお答えください。

--

6.ご自身のことについて

アンケートにご回答いただいたあなたご自身のことについて伺います。それぞれ当てはまるものに○印をつけてください。

性 別	a. 男性 b. 女性
年 齢	a. 10歳代 b. 20歳代 c. 30歳代 d. 40歳代 e. 50歳代 f. 60歳代 g. 70歳代 h. 80歳以上
職 業	a. 会社員 b. 公務員 c. 自営業 d. パート・アルバイト e. 学生 f. 家事専業 g. 無職 h. その他（ ）
居 住 地 区	a. 石橋地区 b. 国分寺地区 c. 南河内地区
下野市居住年数	a. 1年未満 b. 1年以上5年未満 c. 5年以上10年未満 d. 10年以上20年未満 e. 20年以上30年未満 f. 30年以上40年未満 g. 40年以上

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、平成27年10月19日（月）までに 同封の返信用封筒に入れて、
ポストに投函をお願いいたします。